

大学で教えるためのループリック (基礎編)

- 日時 2021年8月25日(水) 13:30~14:45
- 講師 加藤 真紀 教授
(名古屋大学 高等教育研究センター)
- 会場 Zoomによるオンライン開催
- 対象 令和3年度新任教員(参加必須)
学内教職員、非常勤講師、大学院生

企画趣旨

近年学校教育において、学修成果に係る評価基準の明確化と公表は一層重視されるようになってきました。本学では、シラバスにおいて到達目標の記述が必須化されていますが、評価基準毎に求められている学生の具体的な行動や到達水準の明確化については、今後の課題となっています。

今回のFD学習会では、「ループリック」といわれる成績評価の客観性を担保できる手法を紹介します。成績評価は、学生の学修の動機付けにも影響を及ぼす要因の一つであるため、是非ご参加をお願いいたします。

こんな方にオススメ

- パフォーマンス課題に対して厳格な評価を行いつつも、採点時間を短縮したい方
- レポート、プレゼンテーション、ディスカッションの評価を苦手とする方
- オムニバス科目や、同一名称科目の採点に関わる方

申し込み方法

下記URL等からお申し込みください。

<https://bit.ly/3wt7K0A>

お申し込み後、参加方法の詳細が自動メールにより送付されます。



〈お問い合わせ〉

名城大学 大学教育開発センター

TEL: 052-838-2032 (内線: 2653)

第 14 回 FD 学習会・新任教員 FD 研修会
「大学で教えるためのルーブリック（基礎編）」アンケート結果報告について

1. 実施概要

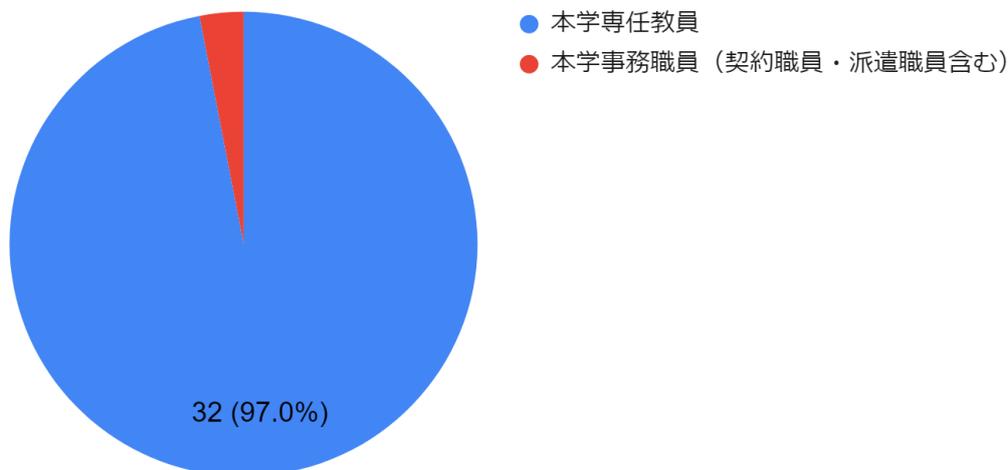
- 日 時：令和 3 年 8 月 25 日（水）13：30～14：45
- 場 所：Zoom によるオンライン開催
- テー マ：大学で教えるためのルーブリック（基礎編）
- 講 師：名古屋大学 高等教育研究センター 加藤 真紀 教授
- 参 加 者 数：60 人（専任教員 52 人、非常勤講師 0 人、事務職員 8 人、大学院生 0 人）

2. アンケート方法等

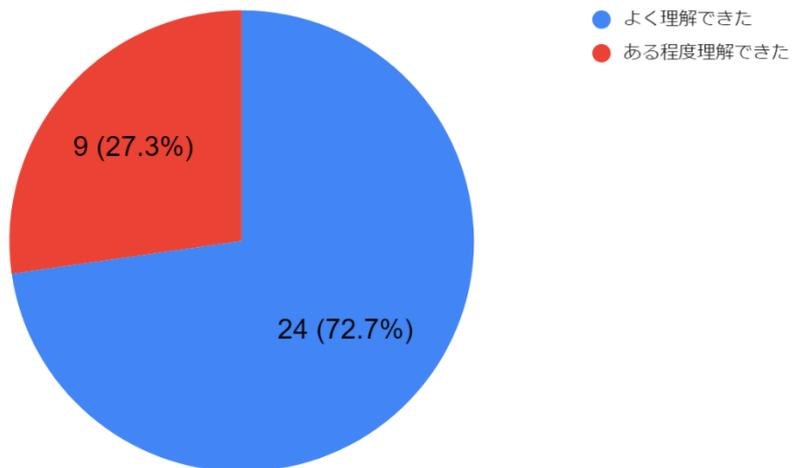
- アンケート方法：Google フォーム
- 質問項目：以下のとおり
 - ①所属をお知らせください
 - ②本日の内容は、理解できましたか？
 - ③本日学んだことを、学部や個人の教育活動に活かしてみたいと感じましたか？
 - ④本学習会の満足度について教えてください
 - ⑤講演の感想をお聞かせください
 - ⑥何が決め手となって、この学習会に申し込みをされたかお聞かせください。
 - ⑦テーマ、ご希望の講師（学内外問わず）について、ご意見ご希望がありましたらお聞かせください。
- 回答者人数（質問①～④）：33 名
- 質問⑤～⑦について主な意見のみを示しています。（※一部抜粋・改稿を含む）

3. アンケート結果

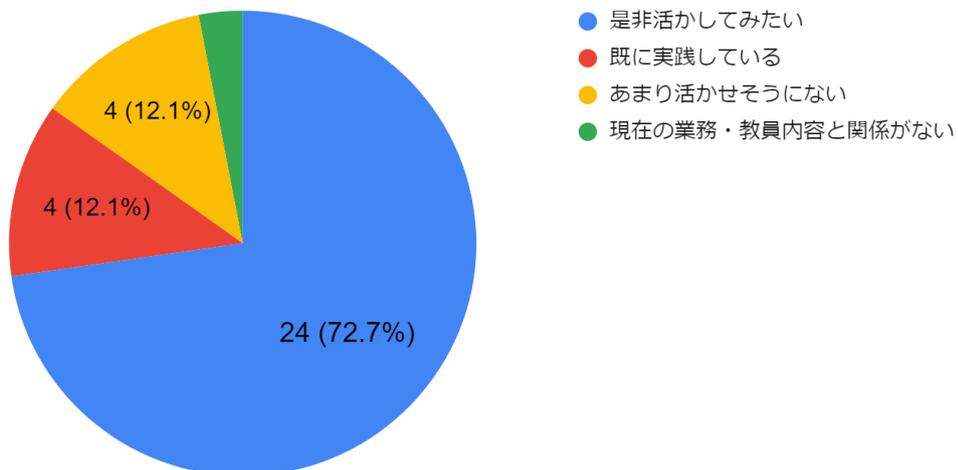
①所属をお知らせください。



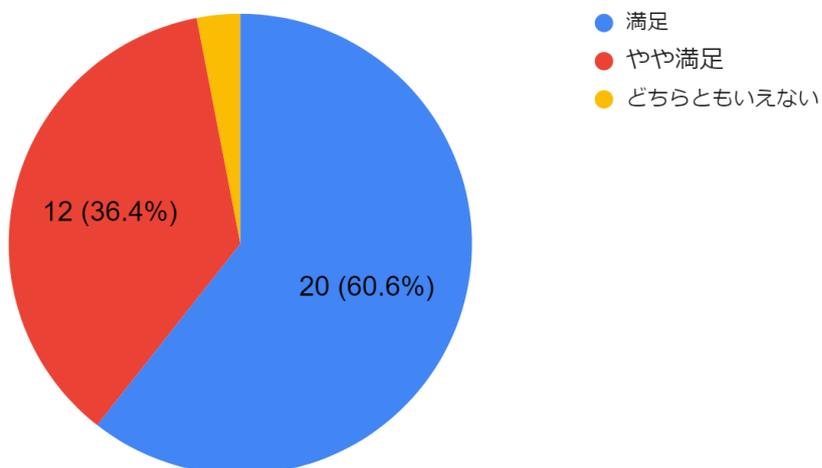
②本日の内容は、理解できましたか？



③本日学んだことを、学部や個人の教育活動に活かしてみたいと感じましたか？



④本学習会の満足度について教えてください



⑤講演の感想をお聞かせください

- ・ルーブリックというのは聞いたことがあるだけだったので、大変勉強になりました
- ・作成には時間がかかるかと思いますが、演習等で採用したいと思います。
- ・FD 学習会に初めて参加させていただきました。非常に有意義で、今後も参加したいと思います。
- ・基礎編でしたので、すごく分かりやすくよかったですと思います。ただ、これから自分の授業にどう有効的に活かすかという課題を感じました。
- ・もう一度ルーブリックに取り組んでみようと思った。ゼミ程度の人数ならいいが大講義では WebClass での返却が困難なので、期末試験の採点などから生かしてみたい。
- ・ルーブリックはなんとなくのイメージで論じられてしまう傾向があるように思います。ルーブリックを「具体的な評価基準リスト」だと捉えれば、教員は（半ば無意識的に）それを普段から行っているわけですから、ルーブリックそれ自体に対する拒否感もだいぶ減少するかもしれません。その意味で、今回のご講演は大変有意義だったと思います。
- ・Stevens and Levi (2013)の「ルーブリックの必要性」に挙げられているレポート採点時の思いには強く共感しました。

⑥何が決め手となって、この学習会に申し込みをされたかお聞かせください。

- ・ルーブリックをもともと使っているので再確認のため。
- ・講義等の評価方法に悩み、受講させていただきました。
- ・自己流でルーブリックを使ったことがあったがうまく使いこなせなかったと感じていたため

⑦テーマ、ご希望の講師（学内外問わず）について、ご意見ご希望がありましたらお聞かせください

- ・学部または専門分野毎にルーブリックの原型があると良いかもしれません。各教員が、適宜それを修正して使用することができれば、導入時の作成コストも低減するかと思います。
- ・近年聞かれる「成績評価基準の平準化」について、今回のように初心者向けにご説明いただけるようなテーマがあるとありがたいです。
- ・現在の名城大学の WebClass では、レポートでルーブリックを使用できるのですが、「評価の観点」の点数の重みづけができません（評価尺度の点数は任意に設定できる）。また、講師の先生の話にあったように、評価基準の項目にチェックをつけたり、評価基準の文言の一部を丸で囲んだりして、ルーブリックの評価を返却できるようになると、より使いやすいです。WebClass のアップデートを期待しています。

以上